

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	自然環境の再生		
施策	①自然環境再生型公共事業の推進			
(施策の小項目)	○失われた自然環境の把握			
主な取組	自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	実施計画 記載頁	21	
対応する 主な課題	○本県の大きな財産である自然環境を毀損することのないよう、生物の多様性、環境の保全・再生に視点を置いた公共事業の実施や技術開発など、時間をかけて本来の姿に再生することが求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	自然環境を戦略的に再生するための自然環境再生指針(仮称)(以下「再生指針」という。)を策定するとともに、自然環境再生モデル事業を実施する。 また、自然環境の保全や再生型の公共事業を実施するための環境経済評価を取り入れた費用便益計測手法(以下「環境配慮型B/C」という。)を確立し、当該手法の考え方を再生指針に反映する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	自然環境再生指針の策定			自然再生モデル事業		自然再生事業	県
	環境配慮型B/Cの構築		多自然型河川改修モデル事業(B/Cモデル事業)				
担当部課	環境部環境再生課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	139,512	43,693	平成27年3月に策定した沖縄県自然環境再生指針に基づき、自然環境再生を展開していく上での課題整理等を行うため、東村の慶佐次川において、自然環境再生モデル事業に取り組んだ。	一括交付金(ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	地域住民や関係者との協議を進め、平成27年度に策定した慶佐次川自然環境再生事業全体構想に沿った形で、生物生息域の再生事業に取り組んだ。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	14,363	平成28年度に引き続き、東村慶佐次川におけるモデル事業を実施し、再生実施箇所の経過モニタリングや必要な対策等を行い、自然環境再生事業の全県的な展開を図っていく課題等を整理する。	一括交付金(ソフト)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
自然環境再生事業の推進にあたり、モデル事業の実施による事例創出や勉強会の開催等関係者への周知や理解を図る取組を実施する。	自然環境再生事業の推進にあたり、モデル事業の実施による事例創出や自然観察会の開催等関係者への周知や理解を図る取組を実施した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
自然環境の再生率	調査中(24年)	「自然環境再生指針」の策定	「自然環境再生指針」の策定	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	平成26年度に自然環境再生指針が策定され、成果指標の目標を達成している。現在、関係行政機関や地元住民の意見を取り入れながら、自然環境再生モデル事業を実施しており、沖縄県自然環境再生指針に基づく再生モデル事例の創出、再生の推進にあたってのノウハウ蓄積及び課題の整理等を行っている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p><u>○内部要因</u></p> <p>・自然環境の再生に当たっては、関係行政機関、関係団体、地域住民等の幅広い主体が協働して推進していく必要がある。</p>
<p><u>○外部環境の変化</u></p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>自然環境再生の推進にあたっては、関係者の意見も取り入れながら進める必要がある。</p>
--

4 取組の改善案(Action)

<p>関係者の意見を取り入れながら自然環境再生を進めるため、地元関係者等で構成する再生協議会における協議の実施や自然観察会等の開催をととした再生事業の周知や理解を図る取組を実施する。</p>
---

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	自然環境の再生		
施策	①自然環境再生型公共事業の推進			
(施策の小項目)	○失われた自然環境の把握			
主な取組	自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	実施計画 記載頁	21	
対応する 主な課題	○本県の大きな財産である自然環境を毀損することのないよう、生物の多様性、環境の保全・再生に視点をいた公共事業の実施や技術開発など、時間をかけて本来の姿に再生することが求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	自然環境を戦略的に再生するため、自然環境の有する防災機能の活用等を体系的に示した自然環境再生指針(仮称)(以下「再生指針」という。)を策定するとともに、自然環境再生(モデル)事業を実施する中で、自然環境が有する防災機能等の把握に努める。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	自然環境が有する防災機能の研究					→	県
担当部課	環境部環境再生課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	139,512	43,693	平成27年3月に策定した沖縄県自然環境再生指針に基づき、自然環境再生を展開していく上での課題整理等を行うため、東村の慶佐次川において、自然環境再生モデル事業に取り組んだ。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	地域住民や関係者との協議を進め、平成27年度に策定した慶佐次川自然環境再生事業全体構想に沿った形で、水流シミュレーションの実施や生物生息域の再生等に取り組み、自然環境再生を県内で展開していく上での参考事例創出や課題整理等を実施できた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	14,363	平成28年度に引き続き、東村慶佐次川におけるモデル事業を実施し、再生実施箇所経過モニタリングや必要な対策等を行い、自然環境再生事業の全県的な展開を図っていく課題等を整理する。	一括交付金(ソフト)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度取組改善案	反映状況
沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施にあたり、自然環境が有する防災機能の効果を考慮した精度の高い予測シミュレーションを行うとともに、自然環境再生事業の事例を創出していく。	沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施にあたり、自然環境が有する防災機能の効果を考慮した精度の高い予測シミュレーションを行うとともに、自然環境再生事業の事例創出を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
自然環境の再生率	調査中(24年)	「自然環境再生指針」の策定	「自然環境再生指針」の策定	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	平成26年度に自然環境再生指針が策定され、成果指標の目標を達成している。現在、関係行政機関や地元住民の意見を取り入れながら、自然環境再生モデル事業を実施しており、沖縄県自然環境再生指針に基づく再生モデル事例の創出、再生の推進にあたってのノウハウ蓄積及び課題の整理等を行っている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <p>自然環境が有する防災機能の効果が限定的であることを踏まえ、当該機能を期待した環境再生事業を全県的に展開する際には、精度の高いシミュレーションを行うなど、十分に効果等を検討する必要がある。</p> <p>○外部環境の変化</p>
---

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施にあたり、自然環境が有する防災機能の効果が限定的であることを踏まえ、再生事業による自然環境の変化を予測するシミュレーション精度を向上させていく必要がある。</p>
---

4 取組の改善案(Action)

<p>再生事業による自然環境の変化を予測するシミュレーション精度を向上させていくため、シミュレーションの実施と自然環境の変化をモニタリングすることによる効果検証を行うなど、県内での実施事例を創出していく。</p>
--